

令和6年度 第5回市政懇談会（須加・北河原・南河原地区） 当日のご意見等と回答の要旨

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
1	【市政懇談会の日程について】 どのような経緯でこの日程が決まったのか。 北河原の自治会長会議でも、現役世代がこのような市政懇談会に参加しやすい日時で開催いただきたいと要望があった。このような場で市長さんがどのような発言をするのか、どのような回答をするのか、そういうことを期待していると思うので、現役世代の方が参加できるような環境を整えることが重要と思う。	広報広聴課 (広報広聴課長)	昨年は平日の夜間に15地区で実施しておりました。参加者の皆様から夜分遅くなるので帰り道が危ないというご意見をたくさんいただき、また、日中に開催でもいいのではないかというご意見もいただいているところでございます。そうしたことから、今年度につきましては、平日の日中に開催するという開催方法をとらせていただいております。今回いただきましたご意見等も参考にさせていただきます。来年度からの開催方法については検討させていただきます。 なお、市報ぎょうだ8月号に掲載いたしますが、9月15日曜日の午後に教育文化センターみらいにおいて、参加者公募で市政懇談会の開催を予定しております。若い方など平日の日中に参加できない方につきましては、そうした回にぜひご参加いただければと考えております。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
2	【埼玉古墳群の行田市のスタンスについて】 埼玉古墳群は、稲荷山古墳から金錯名鉄剣が出たことで話題になった。平成19年に、埼玉県と行田市は埼玉古墳群の世界文化遺産への登録を共同で申請している。それに対して文化庁からは、世界文化遺産としてはふさわしくないというような回答が出ている。 行田市は、本気で埼玉古墳群を世界文化遺産にふさわしいと考えているのか、または、埼玉県が世界文化遺産の申請を推し進めているので、それに行田市はただ単に追従しているだけなのか、お聞きしたい。	文化財保護課 商工観光課 (環境経済部長)	まず埼玉古墳群に対する行田市の認識でございますが、今ご質問の中にもありましたとおり、行田市は元々歴史遺産また観光資源が豊富なまちでございます。その中で、埼玉古墳群は本当に有数の、行田市としては大切な文化遺産でございます。埼玉古墳群の世界遺産登録につきましては、これまで基本的には行田商工会議所が中心になって運動を続けてまいりました。当時、市としても色々な協力をしてきたところでございますが、なかなか世界遺産登録には至りませんでした。そういった中で、数年前ですが、特別遺跡に指定されてございます。こういった流れをどんどん盛り上げていくことで、最終的には世界遺産に登録されることが望ましいと認識しております。 埼玉古墳群、埼玉古墳公園は、埼玉県の管理で県立公園でございます。これまで、市としてもPRはしてきましたが、なかなか関わるのが少ないというのが現状でございました。そういった中で、昨年4月に、3000平方メートルを市が借り受けまして、おもてなし観光局で「さきたまテラス」という売店を設置いたしました。これをきっかけに、埼玉古墳群をより積極的に活用しようと考えているところでございます。本年10月20日には、行田古墳フェスティバルという新たな催しも予定してございます。こういったことで、埼玉古墳群、埼玉古墳公園をぜひとも市として盛り上げてまいりたい、PRしてまいりたいと考えているところでございます。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
3	【市内循環バスについて】 市内循環バスのルートは、北河原地区は、北西コースと北東コース2つのコースで繋がっている。発着点は、市役所のそばのバスターミナルになっている。都心等に向かう場合は、ＪＲ行田駅を利用するが、この地域からＪＲ行田駅に行く場合は、バスターミナルで一旦降りて乗り換える必要がある。もう少し利便性良く、直通便が出ればいいと思う。ＪＲ行田駅に直通で行けるようなコースを設定してほしい。	交通対策課 (市民生活部長)	市内循環バスにつきましては、おっしゃるとおり、この辺りの地区にお住まいの方は一旦バスターミナルで乗り換えて、ＪＲの駅に向かわなければなりません。車で行けば約20分くらいで行けるところも1時間以上かけて駅まで行かなければならないということで、非常に時間もかかりご不便おかけしていると思います。 来年の1月にＡＩオンデマンド交通の導入を予定しておりまして、これを機に、市内循環バスについて大幅な見直しを行う予定でございます。そうした中で、このＡＩオンデマンドというのは、乗り合いという形でご自宅から目的地まで直通で行ける、しかも時間をかなり短縮することができますので、行田市全体の公共交通機関の改善を図る上で、有効な手段と考えております。こちらの導入につきましては、今後各地区を回らせていただいて、地域住民の方に丁寧な説明会を開催する予定でございますので、よろしくお願いいたしますと思います。
	ＡＩオンデマンドは、前から話を聞いていたが、市内循環バスと比べると運賃的にだいぶ違う。色々な面を考えた場合に、やはり市内循環バスの方が、我々から見れば便利かなと思う。市内循環バスのコースについての検討とは、どのようなのか。		市内循環バスは現在6コース運用しておりまして、この近辺の地区は北東コースと北西コースが走っています。年間当たりの経費として、1コース走らせるのに、1,000万円から1,500万円の経費がかかっており、それに対して、運賃収入が年間10万円から20万円程度でほとんどが赤字です。1日当たりの平均乗車人数もひと桁で非常に効率が悪く、多額の税金を投入しているという現実がございます。 今のところ、市内6コースの中で、来年の3月いっぱい東循環コースと北東コース、北西コースは廃止ということで考えております。理由といたしましては、皆さん、ニュースなどでご存知かと思いますが、2024年問題という中で非常に公共交通も苦しい中であって、運転手不足やバスの減便、廃止ということは、行田市においてもかなり鬼気迫る状況でございます。そうした中で、やはり公共交通の持続可能性ということを考えたうえでは、より市民の皆さんにご利用しやすい公共交通ということで再編を行っているところでございます。今後皆様方には、公共交通のあり方について、丁寧な説明のうえでご理解いただけるように取り組んでまいりたいと考えております。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
4	【市民への報告について】 私達は、色々決定されたことについて、決定のプロセスや詳細がわからないので、このような場で質問する。市の関係者がしっかりと議論してるのはわかるが、過去の規則や決まりをただ踏襲するだけだと我々としても不満が出るので、話し合いのプロセスをしっかりとどこかの場で、我々に示すことをしていただきたい。市報でも何でもいいので、我々にわかるようにしていただければと思う。	広報広聴課 (総合政策部長)	わかりやすくお伝えする方法ということでございますが、市報ぎょうだも、なるべく硬い言葉を使わず、皆様にとってもわかりやすいような言葉で具体的にお伝えできるように工夫をまいります。また、今、SNSなど色々な手段がございます。スマートフォンなどを使って伝える手段がございますので、これらを活用して、よりわかりやすく砕いてお伝えをしたいと思います。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
5	【荒木須加幹線道路について】 荒木須加の幹線道路は、片側歩道で着工し、歩道は小学校がある西側という形で事業をやると説明を受けた。電柱の位置について、荒木地区では両側に歩道がつくので東側で、須加は西側に歩道がつくのであればそちらに電線を持ってきて道路灯を設置してくださいと要望した。残念ながら回答をもらっていないまま、事業が中断されてしまった。具体的なスケジュールと、どのような道路になるかイメージを伺いたい。	道路治水課 (都市整備部長)	まず最初に、回答のないまま今まで過ぎてしまった点に関しまして、この場をお借りして謝りたいと思っております。 ご存知のとおり工事一時中断しまして、横塚の十字路の水路のあたりから進んでない状況でございます。令和5年度の工事につきましては、歩道を作る前段階といたしまして、道路と田んぼの境目に、道路が崩れないような擁壁をする工事を予定していたところでございます。設置するにあたり、擁壁の基礎の部分がある程度強固でないと沈んでいってしまいますので、その基礎の部分を今後どうすればいいか検討する中で、事業が今進んでないところでございます。おっしゃるとおり、荒木の場合は東側に歩道、須加については西側に歩道という計画は、概ねそのとおり進んでおりますが、電柱の位置につきましては、いつ工事が再開できるか、強度計算をしている途中ですので、なかなか具体的に答えられない部分もでございます。改めて、担当課と相談して、責任持って回答させていただきたいと思っておりますので、ご了承の程よろしくお願いいたします。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
6	【生活保護について】 生活保護は、最後のセイフティネットと言われているが、行田市の生活保護行政が本当にセイフティネットになっているのか。 ある年の7月に生活保護の申請について相談を受け、担当部署に対応を依頼したが、支給が決定されたのは翌年の6月でおよそ1年かかった。本人が相談に行ったところ、車があってはダメだとか色々言われ、それから相談に出向くことができなくなった。母親が何度も窓口へ相談に行ったが、本人の受給意思が確認できない、ローンがあるから受給資格がないということであった。翌年の5月、私が母親を伴い窓口に行き、ローンが支給しない事由にはならないという厚生労働省の見解について話したところ、窓口の担当は手のひらを返し申請について対応した。 市の生活保護の窓口は申請者の手が届く位置に申請書類がない。これは申請する権利を奪うことになる。まずそこから改善してはどうか。 同じ目に合うような申請者がいなくなるように、ぜひ市長、福祉部長が改善に本気で取り組んでいただきたい。	福祉課 (健康福祉部長)	まずお話を聞きまして、大変反省をしております。担当課は福祉課になりますが、本来であればそこが生活保護というセイフティネットの窓口としてお話を聞いて、丁寧な説明をしなければいけなかったと思います。色々と事実確認していない段階ではありますが、そういった印象を与えてしまったことについて、やはり誤解を与えるような行動や言動があったのではないかと反省をしております。 生活保護については国の制度となっておりますので、色々な条件が付けられております。先ほどおっしゃったように、車については基本的に所持が認められておりません。仕事上必要ということであれば、限定的に認められますが、これも国の基準になっておりますので、なかなか市に裁量がない制度になっております。しかしながら、やはり色々な条件がございますので、それが複雑さを招いていてわかりにくいという部分がございますし、窓口で口頭で説明をしてしまうと、何がネックになっているのか、何が認定をするのに難しい部分なのか、そいといったことが全てわかりやすく伝えきれていない部分があるのではないかと反省をしているところです。 今後持ち帰って検討したいと思っておりますが、窓口においてご相談があった場合には、生活保護を受ける上で難しい部分を紙で書き出してお渡しをして、確認をしていただくことや検討していただくことが、きちんと伝わるように努めてまいりたいと考えております。また、職員自身も、基本に立ち返って、制度についてきちんと理解をした上で説明するように努めるよう指導をしていきたいと考えております。 今回受給するまでに1年ほどかかってしまったという部分で、やはりセイフティネットというのは困ってる方にすぐに支援を差し伸べる点からセイフティネットとしての役割がございますので、その基本に立ち返って、意識の面も変えていきたいと考えております。ご意見いただきましてありがとうございました。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
7	【学校再編について】 説明会もほとんど終わったと思うが、20校を3校にするというきわめて極端な提案であり、私も複数回説明会に出たが、批判的な意見があったと思う。説明会はどのような内容だったのか。 平成31年の計画も今回の計画もコンサルに頼んだのではないかと思っていた。なぜなら、あまりにも教育現場の実情や制度、保護者や地域のことが反映されていない。トップダウンでこういう形にしますという、上から押しつけるような、そして意見を聞くのではなく説明会をする、そういう前回もそうだが今回も教育者がやることではない。今まで学校は地域のコミュニティスクールだと言って教育委員会がやってきたことさえも否定するような提案になっている。教員が少ない教育委員会事務局で作るとこういうふうになるんだなと思っている。	教育総務課 (教育委員会 参事)	説明会につきましては、多々行なわさせていただいているところでございます。ご意見につきましても様々なご意見をいただいております、前回の計画がうまくいかなかったことについてのご批判などいただいております。ただ一方で、子供の数が減っていて、このままでは既存の行田の小中学校が立ちゆかない、だから再編を早く進めたほうがいいのではないか、そういった意見もいただいております。様々ご意見いただいたところだと思っております。

No.	意見・要望等の要旨	所管課 (回答者)	回 答 の 要 旨
8	【須加エリアについて】 市が進める計画の中で、須加地区の利根大堰、永寿荘その辺のエリアに賑わいの創出をと謳っている。利根大堰、旧須加小学校、永寿荘、それと見沼土地改良区の元坎公園、行田市の元坎公園がそのエリアにある。見沼元坎公園については、令和10年に見沼土地改良区300周年記念事業で公園の再整備をするという形になってると思う。賑わいを創出するのであれば、あのエリアをセットで何かできないものかと思う。古墳群と忍城と、それともうひとつこちらに新しく利根大堰を中心とするエリアを観光客が回遊できるような仕組みができないのかということである。市の方でやろうとしている賑わい創出エリアというのは具体的に何か進んでいるのか、それともまだ特になのか伺いたい。	都市計画課 (都市整備部長)	おっしゃるとおり、見沼元坎公園の整備を市内を回遊する公園の一つとして進めることが計画としてあります。ご存知だと思いますが、事業の主体は見沼土地改良区で、市の方は、計画の最初のプロセスの段階で農政課の職員がオブザーバーとして入っております。整備に2億円から3億円ぐらいかかるという話を伺っていますが、その財源につきましては、当初、市の負担ではなくて、全て見沼土地改良区の方で負担する計画で進めたところでございます。しかしながら、見沼土地改良区で今回の計画を具現化し推し進めようとしたときに、なかなか見沼土地改良区単体ですと財源確保は難しいのではないかと、最初に話がなかった中で、行田市の方で少しどうにかならないのかという相談がきていることは事実でございます。 にぎわいの創出について、行田市単体で見沼土地改良区をお手伝いするのが市民全体で考えた時に良いことなのか、公園の利用者が地域の皆さんにとどまらず見沼土地改良区に加入の方々、沿線の方々、色々な方が交流して使える方がより良いのではないかと、そういうところを考えた時に行田市だけで進めていくということではなくて、色々市町村を巻き込んで進めていく、また、一方では、見沼土地改良区の方で改めて財源確保に頭を絞っていく、どの辺が一番いいかということ、見沼土地改良区にご意見も伺いながら、市として何ができるかを検討してまいりたいと考えているところでございます。
9	【永寿荘について】 永寿荘の利用に年齢制限がある。サイクリングで来た子供などもお風呂には入れたり食事もとれるという施設にすれば、かなり賑わうと思うがいかがか。	高齢者福祉課 (健康福祉部長)	永寿荘の利用につきましては、利用料金の差があるものの、基本的にはお子さんも利用できたと思うのですが、持ち帰って確認をさせていただいて、改めて回答させていただきます。